

おほしさま!

としょかん じどうしつ
図書館の児童室コーナーにある

オススメの本を紹介します。



ほし 星につたえて

あんどう みきえ/文
よしだ ひさのり/え
吉田 尚令/絵
アリス館

E/アリ/17-22X27



まじよ まほう 魔女バジルと魔法のつえ

もちいち くみ こさく
茂市 久美子/作
よしざわ けいこ/絵
講談社

913/コウ/14

いま よりずっと昔のこと。クラゲが夜の海に浮かんでいたら、星が話しかけてきました。たがいが知らない世界の話は、ふしぎで美しく思え、胸がときめきました。

クラゲは星にまた会いたいと思いました。星は、何百年かたてば会えるかもしれないと言います。クラゲは星にある言葉をかけようと思いました。でも、できません。やがて夜が明け、星は見えなくなりました。クラゲは星を待ちました。

クラゲが星に言えなかった言葉は、星に届いたのでしょうか？

しょうがっこうていがくねんむ
(小学校低学年向け)

バジルは見習い魔法の女の子。バジルが大魔法の弟子になるための条件は、「流れ星をつかまえる」こと。だけど、バジルはほうきに乗るのが大の苦手。なんと練習してもなかなか上手くいかなくて……。星空の中を、流れ星を追いかけて飛ぶバジルの姿は、とてもワクワクします。バジルは星を捕まえることができたのでしょうか？

バジルの出てくるお話は他にもあるので、ぜひ読んでみてください。

しょうがっこうちゅうがくねんむ
(小学校中学年向け)

ほし おうじ 星の王子さまとめぐる 星ぼしの旅

あがた ひでひこ さく
縣 秀彦/作
かわでしよぼうしんしゃ
河出書房新社 44/ホ/14



ほしぞら とど 星空を届けたい

たかはし まり こぶん
高橋 真理子/文
はやかわ よしお え
早川 世詩男/絵

ほるぶ出版 44/ホ/18



わたしが住んでいる地球は、135億年前に誕生した広い宇宙に浮かぶお星さまです。「星の王子さま」が、星ぼしの旅に出かけ、その星の環境や特徴を案内してくれます。旅の始まりは、地球からいちばん近い星「月」。そこから星ぼしを巡ります。

星ぼしの旅を通して、星や宇宙についての疑問を「星の王子さま」が分かりやすく教えてくれる一冊です。

しょうがっこうちゅうがくねんむ
(小学校高学年向け)

やまなしけんりつかがくかん はたら たかはし かがくかん き
山梨県立科学館で働く高橋さんは、「科学館に来てもらわなくてはプラネタリウムを見てもらえない」ことを残念に思っていました。

ある日、病院でプラネタリウムをすることになり、その経験から「ほんものの星を見られない人たちに、星を届けたい」という思いを持つようになりました。その後、科学館をやめて、出張プラネタリウムをはじめる事にしました。高橋さんは現在も、病院や施設に星を届けています。わたしたちの街にもやって来るかも？

しょうがっこうちゅうがくねんむ
(小学校中学年向け)

ボランティアさんのおススメ本



せん かん ファンム・アレース(全5巻)

こうづき ひのわ ちよ
香月 日輪/著
講談社

913/コウ/06-1 ほか

ティーンズコーナーにあります



いのしし年!!



「いのしし」にまつわる本をご紹介します

ウリボウなかよしいかぞく

ふくだ ゆきひろ しゃしん
福田 幸広/写真
ゆうき もいら ぶん
結城 モイラ/文

ポプラ社

48/ウ/01



—夢と冒険。神秘と恐怖。剣と魔法。そして—。

グランディエ王国の生き残り「聖魔の魂」を持つ王女ララ。水竜の子と世に人の剣豪バビロン。この二人に竜族の姫や魔法ビベカの孫、賢者の弟子、魔人形、死ぬことができない二人連れの刺客などが加わって、雪と氷の魔神を召喚しようとする魔法アイギアと対決します。

古い都から始まった旅は、岩山を越え、森や砂漠を抜け、盗賊や魔物を討ち果たしてどこまでも続きます。まるでファンタジー系RPGをプレイしているようなワクワクとドキドキ。でも、読み切ったときの爽快感はけっしてゲームでは味わえません。

ゲーム大好きなキミ。これを読んだら、運命を感じちゃいますよ、きっと♪

(あさひ文庫)

春日井市図書館・児童室のご案内

開館時間：火曜日～日曜日 午前9時～午後8時
休館日：月曜日(休日の場合は、その直後の休日でない日)
電話：(0568)85-6800
小学校のホームページからもアクセスできるよ
ホームページにあるバナーをクリック →

